

試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

共立女子大学・共立女子短期大学
2023年度入試 2月4日

選択科目

注意事項

- この問題冊子は53ページあります。

出題科目、ページ及び選択方法は、下表のとおりです。

出題科目	ページ	解答用紙	選択方法
化学	1～7	マークシート1枚、記述式1枚	
生物	8～19	記述式1枚	
数学	20～26	マークシート1枚、記述式2枚	
世界史	27～38	マークシート1枚、記述式1枚	
日本史	39～53	マークシート1枚	出願時に登録した科目、いずれか1科目を選択し、解答しなさい。

〈数学には選択問題があります〉

大問	選択方法	
I		
II		
III		
IV		
V		
VI		
VII		
VIII	選択問題	いずれか2問を選択し、記述式解答用紙に問題番号を記入して、解答しなさい。

- 万一、落丁などがある場合は直ちに申し出ること。
- 解答用紙は記述式解答用紙とマークシート解答用紙があります。問題文の指示に従って解答すること。(科目により異なるので注意すること)
- 解答用紙には座席番号・氏名を必ず記入すること。
- 解答用紙に正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。
- 出願時に登録した科目を解答すること。登録以外の科目を解答した場合は無効となります。
- マークシート解答用紙の記入に当たっては、HBの鉛筆またはマークシートペンを使用すること。(シャープペンシルは不可)
- マークシート解答用紙に記載の「記入上の注意」をよく読んでから解答すること。
- マークシート解答用紙の解答欄については、以下の(例)のようにマークしなさい。

〈数学以外の科目〉

例えば、**10**と表示のある問に対して⑦と解答する場合は、次の(例)のように、10の解答欄の⑦にマークしなさい。

(例)

解 答 欄	
10	⑦①②③④⑤···

〈数学〉

例えば、**アイウ**と表示のある問に対して-45と解答する場合は、次のようにマークしなさい。

解答番号	解 答 欄
ア	●①②③④⑤···
イ	①②③●⑤···
ウ	①②③④●···

- 試験終了後、試験問題は持ち帰ること。

I 次の文章を読み、空欄に適切な語句を入れなさい。解答は記述式解答用紙に記入すること。

元朝末期の自然災害、疫病による飢饉に人心はすさま、社会は不安定となり、政権は動搖した。白蓮教徒による（1）が勢いをもったのも、こうした背景があったからである。この反乱の中で頭角を現した（2）は、やがて白蓮教を迷信として斥け、儒学者と結びつき、社会の各階層に影響力を及ぼしていった。1368年、（2）は今日の南京で皇帝となり、国号を（3）と定め、元の都（4）を占領した。（2）は元末以来の混乱を收拾するため、皇帝権力の強化を図り、（5）を皇帝の直属とした。農民の窮乏の改善も急務であり、（2）は生産力を正確に把握し、政策に活かすべく、人口と土地の調査を実施している。「賦役黄冊」と呼ばれる（6）台帳や「魚鱗図冊」と呼ばれる（7）台帳がその成果である。これと連動して（8）制を実施し、また（9）を制定して社会の安定と人々の教化を図った。元代にはユーラシアの東西、また海上を舞台とする交易が大規模に展開したが、元末、政権の統制が緩んだ海上には（10）と呼ばれる海賊集団が横行していたため、（2）は海禁を行って海上の秩序の回復を目指し、あわせて周辺諸国に朝貢を勧誘することで、政権の管理下、交易の継続を試みている。もっとも、管理貿易の制限が、交易の拡大を願う北方オイラトの侵攻を招き、また大航海時代以降の国際的な商業の隆盛により、国内で不足している銀が国外より大量に流入することとなるが、その際、海禁政策により、密貿易の形を取らざるを得なかった。これが後期（10）の実態である。北虜南倭と形容される（3）朝の危機を招いたのが、海上と国際関係の安定を目指した海禁政策であったのは、どこか皮肉めいたものがある。

II 次の文章を読み、空欄に適切な語句を入れなさい。解答は記述式解答用紙に記入すること。

図1は、フランスのロマン主義の画家(1)による《民衆を導く自由の女神》という絵画である。1830年の七月革命を題材とした作品で、絵の中央に描かれている女性はフリジア帽という帽子をかぶっている。フリジア帽は1789年のフランス革命の時代に革命のシンボルとして用いられた帽子で、貴族のような半ズボンではなく長ズボンを着ていたことから(2)と呼ばれた都市民衆が着用していた様子がさまざまな図像に残されている。

《民衆を導く自由の女神》は、19世紀を通じて自由、平等、友愛というフランスの国是を象徴する作品として有名になっていった。そしてその影響は、フランス国内だけにかぎられてはいなかった。たとえば、現在はニューヨークにある自由の女神像をみてみよう(図2)。この彫像は、アメリカを二分した内戦である(3)戦争が1865年に終結した後に、自由の理念を象徴する彫像をアメリカに贈ろうという提案がフランスでなされたことを発端として、1886年に完成したものである。デザインを担当した彫刻家バルトルディは、《民衆を導く自由の女神》を参考にしつつ、フランス革命と結びつきが深いフリジア帽を避けて、特定の国を意識させない王冠のデザインを用いることにしたといわれている。ちなみに彫像の骨格を設計した技師(4)は、パリの代表的な観光名所となった巨大な鉄塔(4)塔を設計したことでも知られている。

フランスの象徴として女性像が用いられた例はほかにも数多くあり、そのなかには帝国主義の思想を表現しているものもある。19世紀末から20世紀初頭にかけて、フランスは植民地の獲得を他国と争った。有名な事件として、アフリカ大陸では、1898年にスーダンで英仏の遠征軍部隊が遭遇した(5)事件が起きている。フランスの勢力圏はそのほかにも北アフリカ、東南アジア、インド洋と太平洋の島々などに広がっていた。

北アフリカでは1830年にアルジェリアがフランスに占領されたのにつづいて、1881年に(6)が保護国化された。モロッコではフランスと(7)が対立し、英仏協商に反発した(7)の皇帝ヴィルヘルム2世が1905年にモロッコを

世界史

訪問して外交的緊張が高まった。東南アジアでは、1880年代にはベトナムがフランスに保護国化され、フランス領インドシナ連邦が成立した。アフリカ東南沖の島（8）ではメリナ王国がフランスに滅ぼされ、1896年に併合が宣言された。

植民地の人々には、第一次世界大戦中にアメリカ大統領威尔ソンが発表した（9）ヶ条のなかでうたわれた民族自決の原則がすぐに適用されることはないかった。だが両大戦間期には、世界各地で民族運動や独立運動が高まっていく。仏領も例外ではなく、東南アジアでは、後にベトナム建国の父と呼ばれることになる（10）が1930年にベトナム共産党(同年、インドシナ共産党と改称)を結成して独立運動を推進した。植民地独立の動きは第二次世界大戦後に加速し、1945年にベトナム民主共和国が独立を宣言した。北アフリカでは（6）とモロッコが1956年に独立し、最大の入植地であったアルジェリアは8年間の独立戦争をへて1962年に独立し、1960年代にはアフリカ大陸の植民地の多くが独立を達成した。

図1 《民衆を導く自由の女神》

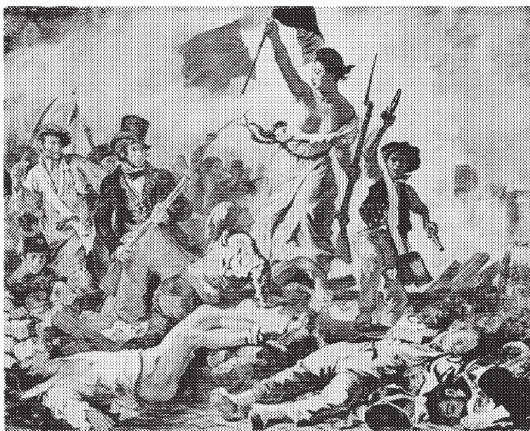
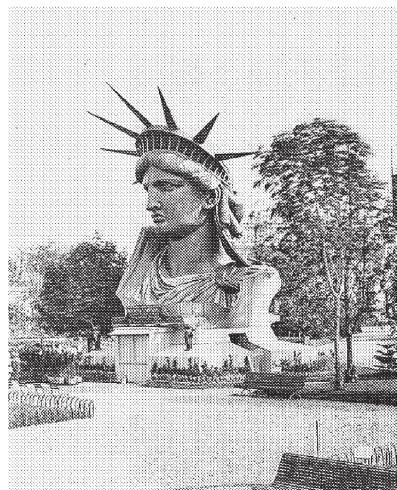


図2 1878年パリ万博で展示された自由の女神の頭部



III 次の文章を読んで、設問に答えなさい。解答はマークシート解答用紙に記入すること。

文学作品は、歴史上に実際に起こったことや、歴史上の実在の人物を元にして書かれることも多い。いっぽうで、ノンフィクション的なものであれフィクション的なものであれ、文学作品が現実の歴史を動かしたり、影響を及ぼしたりするということもあった。大航海時代におけるこれらの事例について見ていただきたい。

1492年にカリブ海の島々に到達し、新大陸を発見したとされるコロンブスは、トスカネッリの唱えた（1）に基づいて、西回り航路でアジアに到達しようとした。実際に到達したのはアメリカだったが、コロンブスがアジアを目指したきっかけのひとつに、ヴェネツィアの冒険家（2）の旅行記である『東方見聞録』があつたとされている。この書物では、ヨーロッパ人にとってなじみのない異国の様子が描かれたが、当時の日本も（3）という名前で登場し、黄金の国として空想的に描かれた。

またスペインからは、現在の中米に（4）と呼ばれる征服者が渡った。アステカ王国を征服した（5）の一行は、テノチティランと呼ばれていた湖上の都市（現在のメキシコ市）を目にして、「これはまさしくアマディスの本に語られている夢の世界のようだ」と、口々に語ったと伝えられている。『アマディス＝デ＝ガウラ』は、16世紀にスペインで流行した騎士道小説のひとつである。征服者たちは新大陸に、騎士道物語の痕跡を見出し、そこに由来するパタゴニア、カリフォルニア、アマゾニアといった地名を付けていった。

1605年に前編が刊行されたセルバンテスの小説『（6）』は、騎士道物語を読みすぎたあまり空想の世界を現実の世界に持ち込む男が主人公の物語だが、ある意味では、征服者たちにもそのような一面があったと言えるだろう。

また、新大陸の先住民を虐殺したり、奴隸として酷使したりした征服者たちの所業については、（7）が『インディアスの破壊に関する簡潔な報告』を著し、その非人道性を告発したが、のちに閲覧が禁止されたり、禁書となったりした。

15世紀に（8）航海王子の事業によって、大西洋への進出が推進されたポルトガルでは、1488年、バルトロメウ＝ディアスがアフリカ南端に到達して

世界史

(9)を発見する。また、1498年には(10)がインドに到達したが、この航海を題材として、ポルトガルを代表する文学作品であるカモンイスの叙事詩『ルジアダス』が生まれた。

問 1 空欄 1 に入る適切な語を選び、その記号をマークしなさい。 1

- ⑦ 天動説
- ⑧ 地動説
- ⑨ 地球球体説
- ⑩ 王権神授説

問 2 空欄 2 に入る適切な語を選び、その記号をマークしなさい。 2

- ⑦ マルクス = オウレリウス
- ⑧ マルコ = ポーロ
- ⑨ カール = マルクス
- ⑩ マルコム = X

問 3 空欄 3 に入る適切な語を選び、その記号をマークしなさい。 3

- ⑦ 邪馬台国
- ⑧ 秋津島
- ⑨ ワクワク
- ⑩ ジパング

問 4 空欄 4 に入る適切な語を選び、その記号をマークしなさい。 4

- ⑦ エンコミエンダ
- ⑧ アシエンダ
- ⑨ コンキスタドール
- ⑩ レコンキスタ

問 5 空欄 5 に入る適切な語を選び、その記号をマークしなさい。

5

- Ⓐ コルテス
- Ⓑ ピサロ
- Ⓒ カブラル
- Ⓓ マガリヤンイス

問 6 空欄 6 に入る適切な語を選び、その記号をマークしなさい。

6

- Ⓐ オデュッセイア
- Ⓑ 神曲
- Ⓒ ドン・キホーテ
- Ⓓ レ・ミゼラブル

問 7 空欄 7 に入る適切な語を選び、その記号をマークしなさい。

7

- Ⓐ ラス=カサス
- Ⓑ ラス=プーチン
- Ⓒ ラス=メニーナス
- Ⓓ ラス=ベガス

問 8 空欄 8 に入る適切な語を選び、その記号をマークしなさい。

8

- Ⓐ エンリケ
- Ⓑ アンリ
- Ⓒ ヘンリー
- Ⓓ ハインリッヒ

問 9 空欄 9 に入る適切な語を選び、その記号をマークしなさい。

9

- Ⓐ マデイラ島
- Ⓑ ジブラルタル海峡
- Ⓒ ヴェルデ岬
- Ⓓ 喜望峰

世界史

問10 空欄 10 に入る適切な語を選び、その記号をマークしなさい。 10

- ⑦ イサベル1世
- ⑧ プレステ＝ジョアン
- ⑨ ヴァスコ＝ダ＝ガマ
- ⑩ ジョアン2世

IV 次の文章を読んで、設間に答えなさい。解答はマークシート解答用紙に記入すること。

歐米先進諸国が帝国主義の攻勢を強め各地で戦争が起きた19~20世紀、さまざまな芸術家が戦争をテーマに作品を描いた。たとえばピカソの『ゲルニカ』は、1936~39年に起きた(1)の際、ドイツ空軍による爆撃によって破壊された小都市ゲルニカを素材に、戦争への憎しみと怒りを表現した作品として知られている。一方、ドイツでは1933年にすでに政権を掌握していたヒトラー率いるナチ党^②が厳しい文化統制を行なったため、作家は戦争の描き方を変えたり、亡命を余儀なくされたりした。ユダヤ人であるという理由で虐殺された作家もいた。

21世紀に入った現在も、芸術家はそれぞれの方法で状況と対峙し、作品を生み出している。なかでも世界的に注目を集めているのが、匿名のグラフィティ^(注1)=ライター、バンクシーだ。バンクシーは1990年代、イングランド南西部の港湾都市ブリストルで壁に作品を描き始め、その後ロンドンや国内外へと活動の場を広げ^③ていった。好んで用いるモチーフはネズミである。都市の暗部を自由に動き回りときに病原菌をまき散らすネズミを、人間は駆除しようとして続けてきた。バンクシーはそのたくましい嫌われ者に、社会から排除され抑圧されているマイノリティや自身を含むグラフィティ=ライターの姿を重ねつつ、政治・社会問題に関するさまざまなメッセージを発している。

2003年、イラク戦争^④に反対する大規模デモが起きた際、バンクシーは「WRONG WAR(間違った戦争)」の文字や「爆弾を抱えた少女」のプラカードを作り、デモ参加者に配布した。さらに、対立が続く中東パレスチナ^⑤に飛び、まちなかの壁に「花束を投げる暴徒」を描いた。この絵は、イスラエル^⑥の軍事攻撃に投石で抵抗するパレスチナ^⑦の抗議運動^⑧をモチーフにしているが、手には石ではなく花束が描かれている。ここから、武器の使用や武力による問題解決に反対するメッセージを読みとることができる。

2005年には再び同地を訪れ、イスラエル人とパレスチナ人の居住区を隔てる分離壁に「風船を持った少女」など複数の作品を描いた。この壁はイスラエルが2002年からテロ防止を理由に建設したものだが、実質的には入植地を拡大しパレスチナ

世界史

人の生活を圧迫するものであり、国際連合から非難決議も出されている。バンクシーは、この壁を越えたいというパレスチナ人の願いを視覚化し、これが報道されることで問題は世界に発信された。この分離壁には世界各地の作家によるメッセージ性の強いグラフィティが存在するが、東西冷戦時に建設され現在その一部を残すドイツのベルリンの壁にも、自由や平和をテーマとした作品が数多く描かれている。^⑨

2006年、バンクシーはカリフォルニアのディズニーランドに現れ、アトラクションの中にオレンジ色のつなぎ服を着た等身大の風船人形を無断で置いた。これは2001年のいわゆる「対テロ戦争」の中で容疑者・関係者として連行された人々の囚人服を模したものである。この頃、アメリカが彼らを違法に拘束し続けていることや、収容者の扱いが非人道的であることが報道され、国際的な非難が集まっていた。人形はすぐに撤去されたが、このパフォーマンスの情報はインターネットで世界中に拡散し、人々の関心を集めることとなった。

注

- 1 日本語に訳すと「落書き」だが、グラフィティとカタカナ表記することが多い。どこでも原則として違法だが、欧米諸国のとくに都市部はグラフィティであふれ、取り締まろうとする当局とライターとのいたちごっこが続いている。

問 1 空欄 1 に入る適切な語を選び、その記号をマークしなさい。

11

- Ⓐ ローマ進軍
- Ⓑ スペイン内戦
- Ⓒ ポーランド侵攻
- Ⓓ 第一次世界大戦

問 2 下線部②について、もっとも適切でない記述を選び、その記号をマークしなさい。 12

- Ⓐ ナチ党とは、国民(国家)社会主義ドイツ労働者党の略称である。
- Ⓑ 1920年代末から急速に支持を拡大させた。
- Ⓒ 人種主義的反ユダヤ主義にもとづく迫害を強行した。
- Ⓓ 支持者は社会下層の人々が中心であった。

問 3 下線部③について、もっとも適切でない記述を選び、その記号をマークしなさい。 13

- Ⓐ 大航海時代から奴隸貿易を行い、17～18世紀には三角貿易の拠点として繁栄した。
- Ⓑ 三角貿易では、ヨーロッパの武器が西アフリカで黒人奴隸と交換され、その黒人奴隸と交換された西インド諸島の農作物がヨーロッパに持ち帰られた。
- Ⓒ こうした奴隸貿易は、イギリスでは1930年代に奴隸制が廃止されるまで続いた。
- Ⓓ イギリスが三角貿易で得た富は、産業革命を促した一因とされている。

問 4 下線部④について、もっとも適切な記述を選び、その記号をマークしなさい。 14

- Ⓐ 多国籍軍が、クウェートを侵攻したことを理由にイラクを攻撃した。
- Ⓑ アメリカとイギリスが、クウェートを侵攻したことを理由にイラクを攻撃した。
- Ⓒ アメリカとイギリスが、フセイン政権が大量破壊兵器を保有しているとの理由でイラクを攻撃した。
- Ⓓ 多国籍軍が、フセイン政権が大量破壊兵器を保有しているとの理由でイラクを攻撃した。

世界史

問 5 下線部⑤に関して、もっとも適切な記述を選び、その記号をマークしなさい。

15

- Ⓐ 1915年、イギリスはフセイン＝マクマホン協定によってユダヤ人のパレスチナ復帰運動を援助する姿勢を示した。
- Ⓑ 1915年、イギリスはフセイン＝マクマホン協定によってアラブ人のオスマン帝国からの独立を約束した。
- Ⓒ 1917年、アメリカはバルフォア宣言によってユダヤ人のパレスチナ復帰運動を援助する姿勢を示した。
- Ⓓ 1917年、アメリカはバルフォア宣言によってアラブ人のオスマン帝国からの独立を約束した。

問 6 下線部⑥は、ある国が第一次世界大戦後から1948年まで委任統治していた。ある国とはどこか、その記号をマークしなさい。

16

- Ⓐ イギリス
- Ⓑ アメリカ
- Ⓒ ドイツ
- Ⓓ スペイン

問 7 下線部⑥が1948年に建国を宣言し、アラブ連盟(アラブ諸国連盟)がこれに反対したことで始まった戦争は何と呼ばれるか、その記号をマークしなさい。

17

- Ⓐ 第一次中東戦争(パレスチナ戦争)
- Ⓑ 第二次中東戦争
- Ⓒ 第三次中東戦争
- Ⓓ 第四次中東戦争

問 8 下線部⑧を意味する適切な語を選び、その記号をマークしなさい。 18

- Ⓐ シオニズム
- Ⓑ レジスタンス
- Ⓒ インティファーダ
- Ⓓ クーデター

問 9 下線部⑨が開放された年と同じ年に起きたできごとを選び、その記号をマークしなさい。 19

- Ⓐ ポーランド、ハンガリー、チェコスロバキアで社会主義政権が崩壊した。
- Ⓑ 西ドイツが東ドイツを吸収して統一ドイツが実現した。
- Ⓒ ソヴィエト連邦ではソ連共産党が解散した。
- Ⓓ ヨーロッパ連合(EU)が発足した。

問10 下線部⑩は、2001年9月のアメリカ同時多発テロを受け、ブッシュ大統領が宣言の中で用いた言葉である。これに関して、もっとも適切でない記述を選び、その記号をマークしなさい。 20

- Ⓐ アメリカが同盟国の支援のもと、2001年10月にアフガニスタンに対して行なった軍事行動である。
- Ⓑ アメリカは、アフガニスタンのターリバーン政権が保護するイスラーム急進派アル＝カイダがテロの実行者であるとみなし攻撃した。
- Ⓒ 湾岸戦争以降、ペルシア湾岸地域にアメリカ軍の駐留が続いたことで、イスラーム急進派のなかで反米感情が高まっていたことがテロの背景とされる。
- Ⓓ ターリバーン政権打倒後、アフガニスタンにはアメリカの主導で暫定政権が誕生したが、治安は安定しなかった。